

里山がっこう 2011 地球のことを考えて行動する日

# アース・デイ EARTH-DAY

いろいろなイベントを開催

校舎二階の大広間で行われた講演会は、放射能から身を守るための具体的な方法について「子供たちを放射能から守る福島ネット」の中手聖一さんが話された。

さらに、原発事故の影響で計画的避難区域に指定された飯館村で長年農業を営んできた男性と、警戒区域内の南相馬市小高区の被災男性の二人が原発事故によって被った体験を報告。大広間を埋めた大勢の人たちが熱心に聞き入っていた。

あわせて、野本美保さん(快ネット治療師)の手当法の講習会も開かれた。

一方、レストランでは、里山がっこうおなじみの「ようこぼっぱ」(郷土料理、自然食研究家、本田洋子さん)プロデュースの旬の食材を使ったカレーセットなどがふるまわれ、来場者が旬のおいしさを味わっていた。



練習の成果を披露する3B体操メンバー



たくさんの義援金ありがとうございました



きれいな花の苗いかがですか



●玄米食の展示●  
昔から薬ともいわれていた玄米食。玄米、みそ、梅干しは疲労回復や体の毒素を浄化する働きがあるとされている。今、問題になっている放射能汚染にも効果的との見方もあり、昔からの伝統食、自然食を見直していきたいと思う。

## 森の樹保育園からのボランティア

5月27日から30日、森の樹保育園(横浜市)のスタッフの5人の方がボランティアに来ていただきました。南相馬市の「NPO法人さぼーどセンターぴあ」を訪問して、森の樹保育園から持ってきた支援物資の野菜を届けたほか、里山がっこう周辺の浄化作業(校内外の清掃・田んぼ・草取り)でも、たくさん助けていただきました。

地元の方を招いた交流会もあり、本当にあっという間の4日間でした。お疲れ様でした。本当にありがとうございました。

森の樹保育園のモットー  
自らがよく遊びきり、お腹がすいてしっかり食べて、遊び疲れて十分に寝る。そんな子供の生活を目指している保育園です。



放射能と暮らしをテーマに講演する中手さん



体の弱い所をびたりと診断 野本美保さん



避難所での話や、これからの思いを込めて



支援物資を届けに(南相馬市)



田んぼの除染作業



木工体験で一つだけの作品完成



満員のレストラン



バイキングコーナー



里山楽団の生の演奏と貴録の歌声



交流会での楽しいひととき



活動を振り返って